

【千葉県・千葉市教員等育成指標】

～信頼される質の高い教員の育成を目指して～

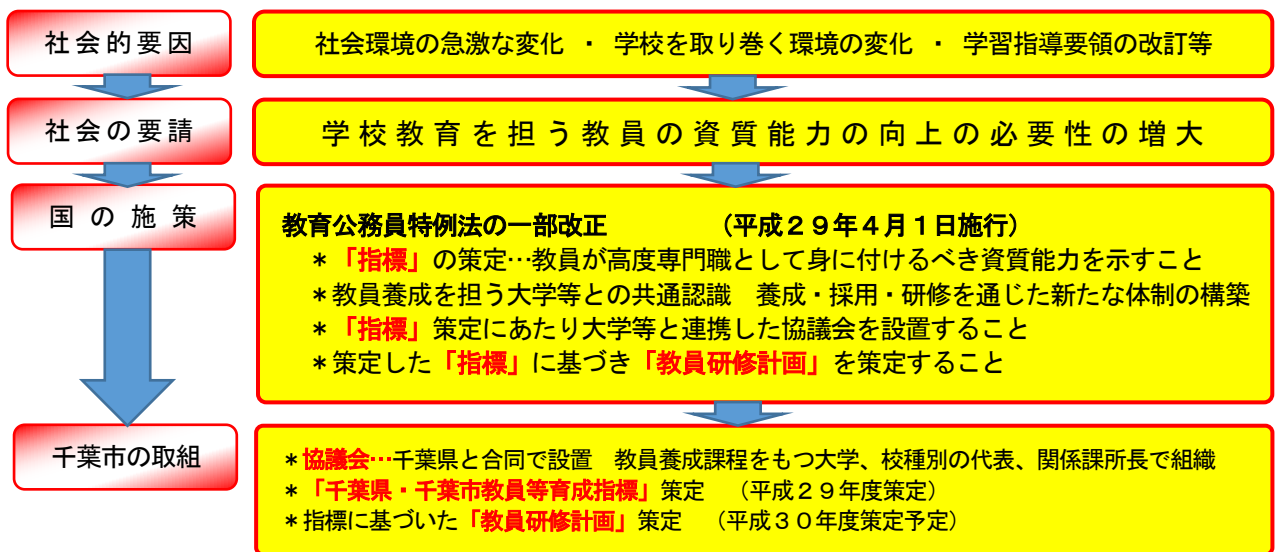
平成28年11月、教育公務員特例法の一部改正がなされ、任命権者は公立学校の教員等の資質の向上に関する指標を定めることが明記されました。同法の一部改正は平成29年4月に施行されたところです。

市教育委員会では、この改正の趣旨にのっとり、自ら学び続ける、信頼される質の高い教員の育成を目指して、千葉県教育委員会と共同して「千葉県・千葉市教員等育成指標」を策定しました。

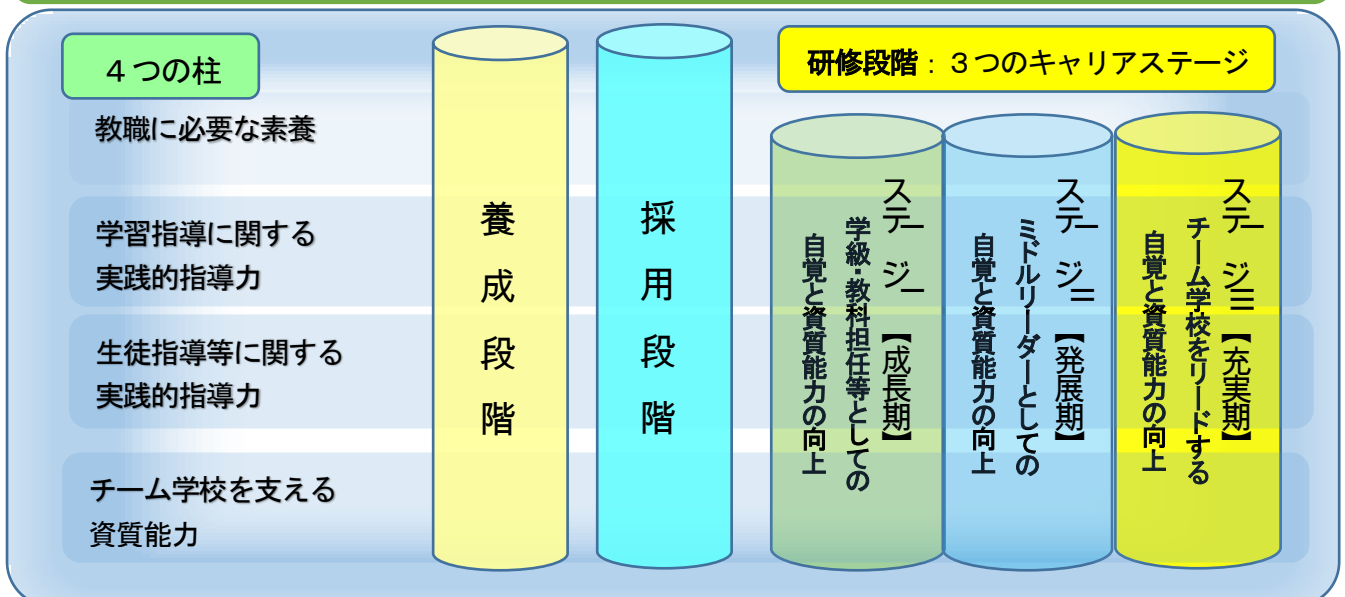
目指せ！
夢チャレンジ
熱血サポーター！



指標策定の背景・経緯



千葉県・千葉市教員等育成指標を構成する4つの柱と「養成・採用・研修」各段階との関連図



千葉市教育委員会

千葉県・千葉市教員等育成指標

目標 信頼される質の高い教員の育成を目指して

「千葉県の教育の振興に関する大綱」「千葉市の教育に関する大綱」及び
第2期千葉県教育振興基本計画「新 みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン」より

四つの柱	構成要素	養成段階	千葉県・千葉市が求める教員像	ステージⅠ 【成長期】 (学級経営、担当教科指導等) 学級・教科担任等としての 自覚と資質能力の向上	ステージⅡ 【発展期】 (学年経営、職務分掌主任等) ミドルリーダーとしての 自覚と資質能力の向上	ステージⅢ 【充実期】 (学校運営等、職員全体へ 指導・助言) チーム学校をリードする 自覚と資質能力の向上
教職に必要な素養	○使命感 ○責任感 ○教育的愛情 ○高い倫理観 ○服務規律の遵守	○教職の意義 ○教員の役割 ○教員への意識 ○課せられる義務等	千葉県・千葉市が求める教員像	ステージⅠ 【成長期】 (学級経営、担当教科指導等) 学級・教科担任等としての 自覚と資質能力の向上	ステージⅡ 【発展期】 (学年経営、職務分掌主任等) ミドルリーダーとしての 自覚と資質能力の向上	ステージⅢ 【充実期】 (学校運営等、職員全体へ 指導・助言) チーム学校をリードする 自覚と資質能力の向上
	○社会性 ○コミュニケーション能力	○教員としての広い視野や教養等を身に付けるとともに、学び続ける意欲やコミュニケーション能力を育む。				
	○広い視野 ○学び続ける意欲 ○社会の変化への対応					
	○教職に関する教養	○教育の理念・歴史・思想や社会的・制度的・経営的事項等についての基礎的知識(選択)				
学習指導に 実践的指導に 関与する	○教科等についての専門性	○学習指導要領、幼稚園教育要領に示された教科領域の目標・ねらい・内容	○人間性豊かで、 教育愛と使命感に 満ちた教員	ステージⅠ 【成長期】 (学級経営、担当教科指導等) 学級・教科担任等としての 自覚と資質能力の向上	ステージⅡ 【発展期】 (学年経営、職務分掌主任等) ミドルリーダーとしての 自覚と資質能力の向上	ステージⅢ 【充実期】 (学校運営等、職員全体へ 指導・助言) チーム学校をリードする 自覚と資質能力の向上
	○授業実践 ○指導技術	○基礎的な学習指導理論 ○発達・学習の過程 ○指導技術 ○具体的な授業設計・保育を構想する方法				
	○特別な支援を必要とする幼児児童生徒への学習上の支援	○特別な支援を必要とする幼児児童生徒に対する学習上の困難の把握と支援の方法				
生徒指導等に 実践的指導に 関与する	○幼児児童生徒理解 ○信頼関係の構築 ○生徒指導	○幼児児童生徒の心身の発達過程・特徴 ○発達・学習の過程 ○生徒指導の意義・原理・進め方	○高い倫理観をもち、 心身ともに健康で、 明朗、快活な教員	ステージⅠ 【成長期】 (学級経営、担当教科指導等) 学級・教科担任等としての 自覚と資質能力の向上	ステージⅡ 【発展期】 (学年経営、職務分掌主任等) ミドルリーダーとしての 自覚と資質能力の向上	ステージⅢ 【充実期】 (学校運営等、職員全体へ 指導・助言) チーム学校をリードする 自覚と資質能力の向上
	○教育相談 ○個別指導	○学校における教育相談の意義・理論 ○教育相談を進める際に必要な基礎的知識				
	○特別な支援を必要とする幼児児童生徒の理解 ○生活上の支援	○特別な支援を必要とする幼児児童生徒の特性 ○心身の発達 ○生活上の困難の把握と支援の方法				
	○人権教育の推進 ○問題行動等への対応	○人権教育の理念 ○理念に基づく、いじめ等の問題行動に対する適切な対応の在り方				
	○進路指導 ○キャリア教育	○進路指導とキャリア教育の意義・理論、指導の在り方等				
チーム学校を支える 資質能力	○教育課程の管理・運用	○各学校で編成される教育課程の意義・編成の方法 ○各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義	○幅広い教養と学習指導の専門性を身に付けた教員	ステージⅠ 【成長期】 (学級経営、担当教科指導等) 学級・教科担任等としての 自覚と資質能力の向上	ステージⅡ 【発展期】 (学年経営、職務分掌主任等) ミドルリーダーとしての 自覚と資質能力の向上	ステージⅢ 【充実期】 (学校運営等、職員全体へ 指導・助言) チーム学校をリードする 自覚と資質能力の向上
	○職務分掌 ○他の教職員との連携・調整	○指導以外の職務を含めた教員の職務の全体像				
	○家庭や地域社会、関係機関との連携・協働	○取組事例を踏まえた家庭・地域との連携・協働の仕方 ○学校の担う役割が拡大する中、内外の関係機関との連携や、分担して対応することの意義・方法				
	○研修(研究)体制	○研究と修養による資質能力の向上の意義・方法				

教員等が身に付けるべき資質能力の4つの柱

教職に必要な素養
とは？

教職に就く者として必要な使命感・教育への情熱・倫理観のほか、幼児児童生徒及び地域との関わりを大切にしながら、社会性やコミュニケーション能力が求められています。また、学校を取り巻く環境の変化に対応するため、広い視野や学び続ける意欲も必要となります。

学習指導に関する
実践的指導力
とは？

教科等に関する専門性をもつとともに、幼児児童生徒の実態に合った授業を展開する指導力、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組む能力が求められています。また、特別な支援を必要とする幼児児童生徒について、その状況を把握し、家庭や関係機関と連携して学習上の支援ができることが必要となります。

生徒指導等に関する
実践的指導力
とは？

幼児児童生徒の心身の発達の特徴、特別な支援を必要とする幼児等も含めた個々の状況を把握、理解するとともに、信頼関係を構築し、学級経営、個別の指導等を適切に行う力が求められています。また、生徒指導上の課題等に対しては、家庭・地域・関係機関等との連携を図り、共感的に対応する力が必要となります。

チーム学校を
支える資質能力
とは？

学校教育目標の実現に向け、教育課程を確実に実施するとともに、組織の一員として学校運営を支える力となり、自分の役割を果たそうとする姿勢が必要となります。また、校内研修体制づくりや地域とともに歩む学校づくりにそれぞれの立場から積極的に取り組む力が求められています。

自ら学び続ける教員等として、キャリアステージ3段階で目指すもの

ステージⅠ【成長期】 (学級経営、担当教科指導等)	【学級・教科担任等としての自覚と資質能力の向上】 ○組織の中で、学級・教科担任としての自分の職務を理解し実践できるようにするとともに、担当分掌についても組織の一員として職務を遂行できる力量をもつことが期待されます。
ステージⅡ【発展期】 (学年経営、校務分掌主任等のミドルリーダー)	【ミドルリーダーとしての自覚と資質能力の向上】 ○学級・教科担任としての職務について常に資質能力の向上に努めることが必要です。 ○学校教育目標の実現を目指して、学年主任や校務分掌主任等ミドルリーダーとしての自覚をもち、連絡・調整、後輩への指導・助言等、その役割を果たすことが期待されます。
ステージⅢ【充実期】 (学校運営等、職員全体へ指導・助言)	【チーム学校をリードする自覚と資質能力の向上】 ○学級・教科担任としての職務について経験を生かしながら、新たな教育課題に率先して取り組むなどして、常に資質能力の向上に努めることが必要です。 ○学校全体が協働して校務を遂行する上で、チーム学校をリードする自覚をもち、企画立案、同僚への指導・助言等、その役割を果たすことが期待されます。